

◆ 平成 24 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	学科長	・学科の教員会議による ・ファシリテーションを中心とするグループワークの研修は講師の都合の関係から、6月下旬か7月	未定	<p>テーマ カリキュラムに関する見直し再編と関連事業</p> <p>実施目的</p> <ol style="list-style-type: none"> カリキュラムの内容検討：再編に当たっての見直しを継続する ファシリテーションを中心とするグループワークの研修 <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 学部学科の再編に当たり、国際文化学科が求める「国際理解」「比較文化」「コミュニケーション」を主柱とする再編の在り方を考える。 学科内 FD として申請採択されたファシリテーションを中心とするグループワークの研修を進める。
人間文化学部 健康科学科	栢下 淳 中瀬古 哲	・原則毎月第 2 火曜（学科会議終了後） ・事例等の実態に応じ、必要が生じた場合は、専門家の招聘し学習会を実施する。	会議室等	<p>テーマ 実験系学科における「教育の質保証」と「SNE(Special Educational Needs)」の統一</p> <p>実施目的 近年、社会的コミュニケーションに何らかの課題を有する学生の増加に伴い、高等教育機関においても、その教学システムの特質に応じて SNE への適切な対応システムを模索・構築することが求められている。特に、集団活動を前提とした実験・実習（学外を含む）が教学システムの中核である実験系の本学科においてはその対応は緊急の課題である。そのための基礎的知見を蓄積・共有することが平成 24 年度 FD 活動の目的である。</p> <p>実施内容 毎月一回、授業における SNE に関する情報を、交流・共有・記録する。事例等の実態に応じ、必要が生じた場合は、専門家を招聘し学習会を実施する。</p>
経営情報学部 経営学科	平野 実	各ゼミ単位で勉強会を開催するが、学習の進展状況等に即して、各ゼミ指導教員を中心に、随時会合を持つ予定である。	研究室、演習室、ラーニングコモンズ、学生の自宅学習等	<p>テーマ 「日経経済知力テスト」（日本経済新聞社と日本経済研究センターが主催するテスト）を活用した経営・経済知力向上への取り組み</p> <p>実施目的 日経テストは、経営・経済の仕組みや流れを深く理解して、新しいビジネスを生み出す能力である経営・経済知力を競うものである。経営・経済知力は、これからのビジネスリーダーを目指す人材に求められる必須の能力で、近年、企業、大学等の参加が増えてきている。経営学科では、このテストを活用し、経営学科学生の経営・経済知力の向上を目指すとともに、経営学科の人材育成目標である、「企業や行政、NPO などの組織において、新産業構造の構築、新規事業の創出を推進できる、実践力のある人材の育成」に取り組む。</p> <p>実施内容 経営学科の 3 つのゼミ（西脇ゼミ、栗島ゼミ、平野ゼミ）を中心に、6 月と 10 月に実施される日経テストの受験を一つの目標に、各ゼミで勉強会を開催する。また、学生の自主的、自律的な学習への取り組みを促進するため、学生を中心とする日経テスト対策のサブゼミやスマートフォンを使用した学習等も実施する予定である。</p>
生命環境学部 環境科学科	五味 正志	平成 24 年 6 月 8 日(金) 2 時限（予定） 講師：原田 浩幸 教授	庄原キャンパス 第 2 会議室（予定）	<p>テーマ 教育システム再編に向けた教育認定プログラム等の検討</p> <p>実施目的 教育システム再編案において、JABEE 等の教育認定プログラムの取得を検討することが求められており、環境科学科の教員は内容を熟知しておく必要があるため、環境科学科の教員を対象組織として情報を得る目的で実施する。</p> <p>実施内容 教育認定プログラムについて、実際に実施する場合のメリットとデメリットについて多面的に検討するための情報を得るため、教育認定プログラムに詳しい講師による講演会を開催する。</p>

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
保健福祉学部 看護学科	山中 道代	文献抄読会： 8月～9月の予定(詳細未定) 伝達講習： 8月～9月の予定	未定	実施目的 シミュレーション教育やグループワークを活性化させる様々な技術を学ぶことで、教員個々の能力向上を図る。 実施内容 後期までに4・5回の文献抄読会、セミナー等への参加と伝達講習の開催。
保健福祉学部 理学療法学科	大塚 彰	学科会議時：毎水曜日・4限 勉強会(月1回)： 第2水曜日・4限	2406 会議室	実施目的 教学生の学内および学外(臨床実習)での学習を支援する。また、学科教員の教育方法論に関する知識・技術を深める。 実施内容 ① 臨床実習中の学生の学習支援および学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援についての対応を討議する。 ② 主として教育方法に関わる勉強会を実施する。
保健福祉学部 コミュニケーション障害 学科	城本 修	1. 毎月2回の学科会議の際に情報の共有と現状報告 2. 以下の開催予定 A. 実習指導者会議 《4年》5/14(月)午後 《3年》7/23(月)午後 B. 学外実習前オリエンテーション 《4年》5/29(火)3限 《3年》7/25(水)1限～ C. 学外実習報告会 《3・4年》7/18(水)1・2限 《2・3年》11/16(金)5限	(2について) A. 4102 会議室 B. 1315 講義室(5/29), 1319 講義室(7/25) C. 2313 講義室(7/18), 4103 講義室(11/16)	テーマ 学生支援の充実と臨床実習指導のあり方に関する検討 実施目的 コミュニケーション障害学科教員間での情報の共有化を進め、学生支援の一層の充実をはかるとともに、更に実習教育の充実を図る。 実施内容 1. 学生指導および支援に関する情報を学科内教員間で共有化するための「学生会議」の開催 2. 実習指導者会議や実習訪問などの機会を通じて、学外臨床実習施設の指導者から、“外から見た”本学科の臨床教育に関する意見・助言を得る。
保健福祉学部 人間福祉学科	細羽 竜也	①月1回以上で不定期開催 ②5月および3月 ③月1回の学科会議時	三原キャンパス内	テーマ 学科FDの取り組みの体系化に向けての準備作業 実施目的 本学科では、これまでFD活動事業として、①社会福祉士・精神保健福祉士養成に向けた実習教育に関連する教育事業や、②地域の障害者との交流会を中心としたボランティア教育を行ってきた。今年度は、これらの事業について、学科教育事業としての位置づけを明確にするとともに、③実習教育と福祉士養成科目との関連を整理し、本学科における福祉専門職としての教育事業の体系化を推進することにする。なお、今年度は、③の事業の一環として、福祉士養成科目に関する教育評価事業を行うこととする。この教育評価事業は、本学のFD活動促進事業として予算措置を受けている。 実施内容 ①実習教育事業：社会福祉士実習教育部会及び精神保健福祉士実習教育部会が開催 ②ボランティア教育事業：5月に障害者およびその関係者と学生との交流会実施、3月に精神障害者およびその関係者と学生・地域との交流会 ③教育評価事業：月1回の学科会議時に開催